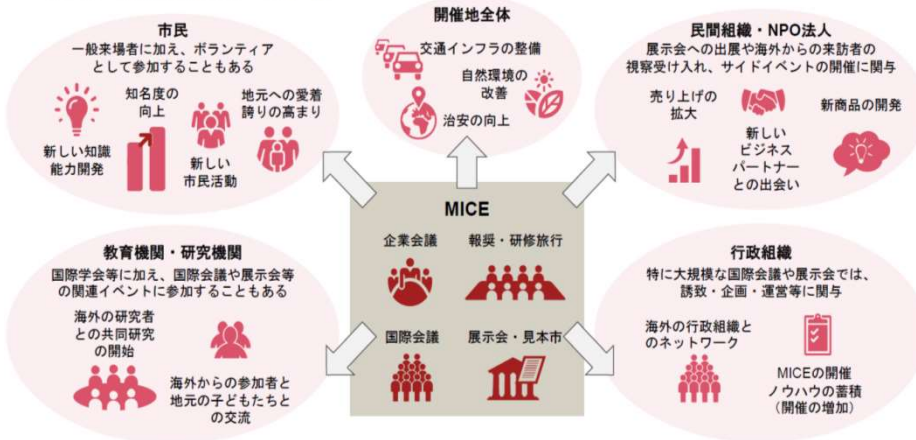


1 策定の背景

- ・国の観光立国実現に向けた基本計画である「観光立国推進基本計画」（平成29年3月28日閣議決定）における「MICEの誘致と推進」の重要な柱としての位置付け
- ・東京都は平成25年にグローバルMICE戦略都市（現：グローバルMICE都市）に選定され、独自に「東京都MICE誘致戦略」（平成27年7月）を策定し取組を推進
- ・「大田区観光振興プラン2019-2023」（平成31年3月）において、「大田区らしい」MICEの推進を基本戦略に位置付けた

MICEとは  
 企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字であり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称であり、MICEを開催することで「1」ビジネス・イノベーションの機会の創造、「2」地域への経済効果、「3」国・都市の競争力向上など、関係者にとどまらず、短期的には経済効果を、中長期的にはビジネス機会や研究促進等の幅広いレガシー効果を幅広くもたらし、都市の成長や発展につながると考えられている

レガシー効果の波及イメージ（一例）



資料）観光庁「平成30年度MICEによるレガシー効果等調査事業」（平成31年3月）

2 本戦略の目的と意義

- 1) 地域経済や地域社会の一層の成長・飛躍
- 2) 区内観光産業の発展
- 3) 中長期的視点からのMICE施設の利用最適化の推進

3 取組の方向性

- 1) 「大田区らしい」中小規模MICE開催
  - ・充実した民間会議施設の集積を活かし、MICE主催者と民間施設をマッチングすることで、中小規模MICEの区内での開催を促す
  - ・区民や関連事業者の認知・理解を深め、地域に寄り添い、区民に親しむMICE誘致に取り組む
- 2) 「大田区らしい」テーマ型MICE開催
  - ・「ものづくり」「技術」「産業」等をキーワードとしたMICEに対し、戦略的に誘致を図る
  - ・「商店街・飲食店」や「水辺空間」を活かしたアフターMICE機能の提供に取り組む
- 3) 羽田空港を活用した国際・大規模MICE開催
  - ・大型複合施設等の開発進展をふまえ、空港からの隣接性を活かした国際CEや大規模会議の開催地として、区内における誘致体制を整備する

4 基本方針

(1) 地域密着型の多彩なMICEの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区の多様性とMICE資源の集積を活かした、中小規模の多様なMICEを受け入れる</li> <li>・ものづくりや技術、産業に関する強固なイメージを活用し、テーマ性を帯びたMICEの積極的な誘致を図る</li> <li>・MICE誘致に対する地域住民、関連事業者の認知・理解を深める</li> <li>・羽田空港の立地を活かし、大規模・国際MICEの受入可能性を検討し、その準備を進める</li> </ul>
(2) 他地域との連携によるMICEの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内で開催されるMICEに対し、必要に応じて他都市と連携しながら、適切なアフターMICE機能を提供する</li> <li>・他都市で開催されるMICEに対し、充実した都市リソースを活用したアフターMICE機能を提供する</li> <li>・東京都と連携し、国際CEや大規模会議への取組を進める</li> </ul>

5 施策

施策1 地域一体となった推進体制の整備	施策2 区内資源の有効活用											
<table border="1"> <tr><th>内容</th></tr> <tr><td>1 民間企業、経済団体、大学、宿泊施設等との連携</td></tr> <tr><td>2 地域における気運醸成</td></tr> <tr><td>3 人材の育成・登用</td></tr> <tr><td>4 発展的な推進体制を見据えた検討</td></tr> <tr><td>5 周辺や関連自治体などとの連携によるMICE誘致力の強化</td></tr> </table>	内容	1 民間企業、経済団体、大学、宿泊施設等との連携	2 地域における気運醸成	3 人材の育成・登用	4 発展的な推進体制を見据えた検討	5 周辺や関連自治体などとの連携によるMICE誘致力の強化	<table border="1"> <tr><th>内容</th></tr> <tr><td>1 施設・インフラの活用</td></tr> <tr><td>2 ユニークバリエーションの開発</td></tr> <tr><td>3 アフターコンベンション・エクスカージョン等の充実</td></tr> <tr><td>4 資源のパッケージ化</td></tr> </table>	内容	1 施設・インフラの活用	2 ユニークバリエーションの開発	3 アフターコンベンション・エクスカージョン等の充実	4 資源のパッケージ化
内容												
1 民間企業、経済団体、大学、宿泊施設等との連携												
2 地域における気運醸成												
3 人材の育成・登用												
4 発展的な推進体制を見据えた検討												
5 周辺や関連自治体などとの連携によるMICE誘致力の強化												
内容												
1 施設・インフラの活用												
2 ユニークバリエーションの開発												
3 アフターコンベンション・エクスカージョン等の充実												
4 資源のパッケージ化												
施策3 MICE対応力の強化	施策4 重点分野に応じた誘致活動の展開											
<table border="1"> <tr><th>内容</th></tr> <tr><td>1 支援体制の充実・円滑化</td></tr> <tr><td>2 グローバル対応の充実</td></tr> </table>	内容	1 支援体制の充実・円滑化	2 グローバル対応の充実	<table border="1"> <tr><th>内容</th></tr> <tr><td>1 重点分野の見直し</td></tr> <tr><td>2 プロモーション体制の整備</td></tr> <tr><td>3 誘致活動の展開</td></tr> </table>	内容	1 重点分野の見直し	2 プロモーション体制の整備	3 誘致活動の展開				
内容												
1 支援体制の充実・円滑化												
2 グローバル対応の充実												
内容												
1 重点分野の見直し												
2 プロモーション体制の整備												
3 誘致活動の展開												

6 取組体制

区・大田区MICEビューロー・HQ（ヘッドクォーター）の3者によるMICE推進

※HQ=MICEを推進する上で意思決定・推進主体となる司令塔  
 大田区：助成金交付、パッケージプラン、広報媒体作成・発信  
 大田区MICEビューロー：区が取り組むべきMICEの目標・指針を設定し、HQの見守り・助言を行う  
 HQ：開催に関する相談、会場・宿泊施設・ケータリング等の一切の手配を担う

